

I. 3Dレイヤーをリンク

① 3Dリンクレイヤーを作成してビューメニューの<2Dに戻る>をクリックしま(※1)

② モデルメニューの<モデルを切断>で任意の位置で切断できます。

③ 切断線の左右どちらか必要な断面を選択します。

④ 新たなレイヤーが自動的に作成されます。(※2)

⑤ 基本ツールのフライオーバーツールで3Dのワイヤフレームを立ち上げます。(※3)

⑥ レンダリングすると建物の切断パースが出来上がりです。(※4)

何故3Dなのか?・・・。ひたすら説明のためです。平面図は上からの投影。展開図・立面図は側面からの投影です。お客様にわかりやすいのは3次元に決まっています。又ひたすら彼らの邪念を払拭して突き抜けていくための道具です。

そうは言っても画像・モデルとしての芸術性を求めているわけではないのでそんなに手間も掛けられません。

現在、このCADでは住宅設計に壁オブジェクトより軸組みを自動生成し壁量計算を行う在来木造住宅設計支援ソフトを準備中だそうです。建築基準法による壁量計算と品格法による<構造)安定に関する事>の等級判断を行います。壁オブジェクトを利用した図面作成から、簡単な操作で耐力壁等の設定を行い計算を実行できるということです。

II. ちょっとCoffee Break ※5

どこにいても仕事ができることは行動範囲が格段に広がるように思います。業務に必要なものはすべてデジタル化して必要なときにそれを取り出せることを目指しています。例えば福岡にいても周南の仕事ができます。必要な情報(画像・資料)をメールで受取り指示をすることもできます。インターネット閲覧・ダウンロード・メールの送受信はP-in (PHS)で、FAXの送受信は携帯電話(MovaにはFAXモデム内臓)に接続してできます。ストレスを感じるのろさはない。(※5)

基本計画・プレゼンはVectorWorks12.5DX、

確認申請はCAL-PACK2 建築知識の別冊付録、

工程表作成は、FastTrack 8、これは実に使い勝手が良い。かゆいところに手が届くと言う感じです。リソース管理やコスト管理がきめ細かいのに使いやすい。リソースの達成率に伴いコストを積算するという機能もあります。会計ソフトは弥生会計Proを使用しています。実際に私が入力しているわけではありませんが、いろいろシュミレートが出来て近未来予想図が描けそうです。

住宅の構造ソフトは、EFFDESIGN v10、応力度計算方式なので力の流れがみえそうです。少し大げさです。

COffee break

通信(メール・FAX)



NTTdocomo P-in
internet
Mail

NTTdocomo MOVA携帯
FAXの送受信
(マイトークFAX8Pro)

基本計画
プレゼン

使用ソフト
VectorWorksDX
VIX

↓
実施計画

VectorWorksDX

確認申請

CALZERO

工程表

FastTrack 8

会計ソフト

弥生会計Pro. V6

構造計算ソフト

EFFDESIGN

発注監理

EXCEL

※1

※2

※3

※4